

静岡県PTA連絡協議会からの要望書回答

要望	回答	担当課
1 子どもたちが豊かな学びを得るための教員の働き方改革推進とメンタルケアの充実 子どもたちが学校において豊かで十分な学びを得ることができるようにするために、授業以外の業務の軽減を含む教員の働き方改革を引き続き進めるとともに、教員定員を充足し、さらに教員数を拡充するとともに、そのための人材を確保するように努めていただきたい。また、悩みを抱える教職員のメンタルケア等のサポートの充実化を図り、教職員が安心して子どもたちと向き合える環境を整えていただきたい。	教員が児童生徒と向き合う時間を確保するため、スクール・サポート・スタッフを全校に配置しております。また、令和7年度から幼児教育から小学校教育への円滑な接続（小1ギャップの解消）及び不登校やいじめへの予防的対応として、小1の31人以上の学級を有する学校に対し、支援員（小1スマイルサポーター）を配置することで、教員の負担軽減を図ってまいります。さらに、県全体の欠員数や未補充の状況を鑑み、当初の新規採用者数計画を見直し、必要とする人材の確保に努めてまいります。	義務教育課 教育厚生課
2 子どもたちのメンタルケアと子どもの居場所づくりへ向けた支援の充実 近年、ますます必要性が大きくなってきているスクールカウンセラー制度のさらなる充実強化を図り、不登校・経済的困窮・虐待等、さまざまな悩みを抱える子どもたちのメンタルケアを行うための支援に万全を期していただきたい。また、そのような子どもたちの居場所を確保できるよう、学校の内外におけるサポート体制を強化していただきたい。	子どもたちのメンタルケア等をより充実させるため、スクールカウンセラー等の拡充について、引き続き国へ要望していきます。居場所の確保として、公的施設や民間施設等と連携し、各種協議会を開催するとともに、民間施設への補助を令和6年度より始めました。また、令和7年度より、校内教育支援センター拡充への補助を行い、よりサポート体制の強化ができるよう、努めているところです。	義務教育課

要望	回答	担当課
3 GIGAスクール構想と教育DX化の推進に伴う環境整備の促進 現在、小中義務教育学校では1人1台の情報端末をもつGIGAスクール構想やDX化が進められているが、それに対応する教員の研修等の支援や古くなった情報端末の更新・拡充等の環境整備を進めていただきたい。	授業や校務にコンピュータ等の情報手段が一層活用されるよう教職員研修等を実施します。また、端末については、国庫補助金により「静岡県公立学校情報通信機器整備基金」を令和6年度に創設し、計画的に更新を行ってまいります。	教育DX推進課
4 部活動の地域展開の円滑な実現 中学校における部活動の地域展開については、生徒の意欲や希望を尊重すること、家庭の経済状況によって取組に格差が生じないようにすること、各学校の部活動自体が縮小・廃止とならないこと等に十分配慮しつつ、円滑な実現に努めていただきたい。	中学校の部活動の地域展開は、スポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障するという趣旨に基づき、生徒を中心においた教育環境の整備として取り組む必要があり、設置者である各市町において取組が進められております。県教育委員会では、子どもたちが心身ともに健康な成長を遂げられるよう、市町と連携し、地域の実情に応じた展開ができるよう丁寧に進めてまいります。	健康体育課

要望	回答	担当課
5 コミュニティ・スクールと小中一貫教育を推進するための地域人材の確保 コミュニティ・スクールと小中一貫教育が各地で推進されているが、その担い手となる地域の人材の育成・確保に努めていただきたい。特に、学校・地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）や放課後子ども教室の担い手の育成・確保に向けた取組を支援していただきたい。	新たに地域学校協働活動推進員として活躍を期待される方を対象とした地域学校協働活動推進員等養成講座を実施し、推進員として必要な知識や技能の習得を支援しております。また、令和7年度からは、既に地域学校協働活動推進員として活躍されている方を対象とした、地域学校協働活動推進員フォローアップ研修を立ち上げ、推進員の知識のアップデートや技能の向上、推進員同士の交流を支援してまいります。	社会教育課
6 学校施設の整備と快適な学習環境の確保 各学校においてすべての特別教室・体育館にエアコンを速やかに設置する等、学校施設の充実・強化を図り、子どもたちが安心し、かつ安全に学ぶことができる環境整備を促進するために必要かつ十分な予算を確保するよう、国に働きかけていただきたい。	全国公立学校施設整備期成会等を通じ、国に対し、学校施設環境改善交付金等の十分な財源確保と支援の充実を働きかけてまいります。	教育施設課

要望	回答	担当課
7 学校の統廃合後の地域・ＰＴＡ支援の強化と学習環境の維持 学校の統廃合により児童生徒の学習環境が大きく変わらないように努めるとともに、地域コミュニティやＰＴＡ組織の活動を支援していただきたい。特に、山間地における学校の統廃合に際しては、スクールバスの確保等を確実に行之、通学等に支障が出ないよう、支援をしていただきたい。	全国都道府県教育長協議会及び全国都道府県教育委員協議会を通じて、学校再編整備に伴い遠距離通学を余儀なくされる児童生徒のために、スクールバス等の経費に対する財政支援を拡充することと合わせ、市町の実情に応じて柔軟に対応できるよう制度の改善・充実を国に求めているところです。 また引き続き、へき地児童生徒援助費等補助金の活用について、市町に周知を図りつつ、申請及び交付決定に際して、適正な事務処理に取り組んでまいります。	社会教育課 義務教育課
8 学校と通学路の安全確保に向けた啓発の強化 子どもたちが安心して学校で学ぶことができるように、学校及び通学路の安全の確保及び防犯対策の向上に関する啓発を強化するよう努めるとともに、市町や関連団体等に働きかけていただきたい。	通学路における合同点検により、令和７年３月までに県内すべての通学路において対策を完了しております。今後とも、市町教育委員会学校安全担当者連絡会等で通学路の安全確保及び防犯対策について呼びかけてまいります。	健康体育課

要望	回答	担当課
9 防災対策の強化 南海トラフ地震等の発生を想定し、子どもたちの生命を守るために、地域と学校が一体となった避難訓練の実施や学校内外の避難経路の確認等、防災対策をより一層強化するように努めるとともに、市町や関連団体等に働きかけていただきたい。	学校と地域が連携した防災教育及び防災管理体制の充実を図るため、各学校に対し、学校・自主防災組織・市町等で構成する「防災教育推進のための連絡会議」を年1回以上開催するよう依頼しております。引き続き、当会議において、地域と学校が連携した防災訓練の実施や災害時の対応について協議するよう働きかけてまいります。	健康体育課
10 バランスのとれた給食の提供・充実と給食の無償化の公平な推進 物価の高騰により給食に必要な材料費も高騰しているが、子どもたちの成長を支えるために、バランスのとれた給食を提供し、さらに充実を図るために必要な支援をするよう、国に対して働きかけていただきたい。 また、給食費の無償化等の施策を進める際には、引き続き地産地消に十分に配慮するとともに、静岡県内の市町ごとに差が生じることがないよう、国に対して働きかけていただきたい。	学校給食における物価高騰対策については、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用するなど、県及び多くの市町で負担軽減に取り組んでおります。 学校給食費の無償化については、国は令和7年5月中旬を目途に制度設計の方針を取りまとめるとしております。県教育委員会としては、国の動向を注視しつつ、自治体の実施する地産地消や食育の取組などについて考慮するよう、国へ働きかけてまいります。	健康体育課